

取組事例発表

綾川中学校職場体験学習

～廃棄物処理の現場から仕事・環境問題について学ぶ～

株式会社富士クリーン(所在地：香川県綾川町、代表取締役社長：馬場 太郎)は令和 4 年 11 月 8 日から 10 日の 3 日間で綾川町立綾川中学校の生徒 3 名を受け入れ、職場体験を実施いたしました。廃棄物とはどのようなものなのか、当社では廃棄物をどのように処理しているのかを実際の体験を交えながら、学習していただきました。

■ 廃棄物処理事業の体験実習

当社は多様な廃棄物に対応し処理する複数の施設を保有し、管理・運営しています。このたびの職場体験では、焼却施設、乾式メタン発酵施設、太陽光パネル処理設備における設備の点検業務を実施しました。廃棄物は家庭や企業から常時発生しており、当社が安全・安定した廃棄物処理を継続する上で点検業務は必須の作業です。日々の業務の積み重ねが廃棄物処理において重要であることを学んでいただけたのではないかと思います。



焼却施設の点検業務を体験



太陽光パネル処理設備の操作説明

■ 廃棄物・環境について考える

最終日には、「ごみを減らすことが、なぜ環境にいいとされているのか?」、「環境に配慮した廃棄物処理とは?」というテーマで、廃棄物の分析実習を行いました。これまでの当社の職場体験で見て学んだことを思い出しながら、難しいテーマを理解して考えようとする姿勢が大変印象的でした。

当社の職場体験が生徒の皆さんの将来の仕事について考えるきっかけ、環境問題について理解し行動するきっかけになれば幸いです。また、自分の知らないことを積極的に知ろうとする生徒の皆さんの姿勢を見て、当社社員も仕事の原点に立ち戻ることができたと思います。



廃棄物の分析実習

本件に関するお問合先：

株式会社富士クリーン (087-878-3111) soumu@fujicl.com